

予算決算常任委員会審査報告書

令和元年 12 月 18 日

飯綱町議会議長 大川 憲明 様

予算決算常任委員会委員長 渡 邊 千賀雄

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので会議規則第 77 条の規定により報告します。

記

事件番号	件 名	審査の結果
議案第 88 号	令和元年度飯綱町一般会計補正予算（第 4 号）	可 決

次に、本委員会の審査の経過及び主な質疑について報告します。

○議案第88号 令和元年度飯綱町一般会計補正予算（第4号）

質 疑：多世代の地域住民が交流できる新たな場づくりプロジェクトと廃校を活用した地域住民交流促進事業で、地域おこし協力隊を予定していた事業だと思いが減額している。継続して募集をしているとは思いますが、いつ頃を目途に採用を予定しているのか。

回 答：今回、採用の見込みがないということで4月～12月までの9か月分を減額した。採用したいがなかなか応募がないという状況である。1月～3月分は引き続き予算があることから、再度募集をして進めていきたい。

質 疑：大門川の補修について、工事内容の詳細をお聞きしたい。

回 答：大門川改修工事について、地元から今年度当初に要望があり、県に令和元年度農地耕作条件改善事業を追加要望し、採択されたことから補正予算を提出した。施工箇所は、リゾートライン下から延長約170メートルの改修工事であり、事業計画は令和元年度から2年度の2年間にわたり、全体事業費2,000万円で行う予定である。今回の補正要求額については、延長約70メートル分の工事費であり、特定財源は国が50%、県が14%の640万円を計上

している。

質 疑：公有財産購入費の130万円について、直売所ムーちゃんを購入するとのことだが、どのような後利用を考えているのか。

回 答：現在建設中の三本松直売施設については、資材等を保管するスペースが不足している。そのため、まずは資材を入れる倉庫として活用していきたい。

討 論：なし

採決の結果：全員賛成で可決とした。

以上